

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	45	大学等名	三重県立看護大学
テーマ	テーマⅢ（高大接続）		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・高大接続の取組や事業の成果を踏まえ、3つのポリシーの改正を行い、また、新たな入学者選抜方法の導入を決めたことは評価できる。さらに、入学前の本取組と入学後の学修状況を連動させてフォローアップするために、当初予定していなかった事務局推進体制の改編を行い、教務学生課に一本化したことは評価できる。
- ・メディアコミュニケーションセンター長の下に高大接続小委員会、更にその下に3つのWGが置かれ、入試委員会も位置付けられ、推進体制は組織的である。また、外部評価機関として「三重県立看護大学高大接続事業評価委員会」を設置している。取組の実施内容ごとに関係者からの声やアンケート結果を踏まえ、継続的、発展的に実施内容の充実を図っていることも評価できる。
- ・高大接続事業担当専任事務職員、高大連携特任教授等専門人材が配置されており、体制的な継続性が見込まれる。また、補助期間終了後も大学独自の財源や運営費交付金等により、継続性が見込まれることも評価できる。
- ・進路選択時のミスマッチを防ぐことをねらいとする看護職キャリアデザイン講座等の事業の成果については、他の看護系大学や学部への波及が見込まれる。また、県内の高校生のみならず、県外高校生への事業の周知をはじめていることも評価できる。
- ・選定時に付された留意事項及びフォローアップ報告書への対応については、県教育委員会幹部との意見交換会及び県内の主な進学校12校の進路担当の教員との意見交換会、看護職キャリアデザイン講座「出前授業」、「一日みかんだい生」の開催にあたっての県、県教育委員会、県医師会、県看護協会の後援依頼など、適切に対応していることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・必須指標「高校生を対象とした大学レベルの教育機会を経た学生の単位認定数（平成28年度目標1単位2名）」について、平成28年度が「実績なし」だったことから、単位認定に関する課題の検討を急ぐ必要がある。